

2011年(平成23年)

7月7日

木曜日

N I K K E I B U S I N E S S D A I L Y

住宅リフォームのオンテックス(大阪市、田中紀行社長)は省エネ性能の高い外壁用塗料を開発し、このほど販売を始めた。特殊な発泡物質を塗料に練り込んで、空気を含ませることで遮熱性と防音効果を高めたのが特徴。塗料の厚みが増してしまったため、高度な施工技術が必要だが、独自の体制を整えて品質の維持・向上に取り組んでいる。

「確かに以前より冷房の利きがよくなつた気がする。来月の電気代が楽しみ」。最近、オンテックスの新商品「E-テックスDX」を使って外壁をリフォームした顧客からほんの声が聞かれるという。全国的な電力不足を背景に、手

## 住建・サービス

軽な改修で住まいを省エネモードに切り替えるたいと望む家庭が多い。

用しているが、築十年もたぬが、外壁に塗

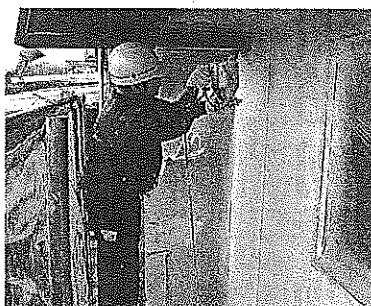
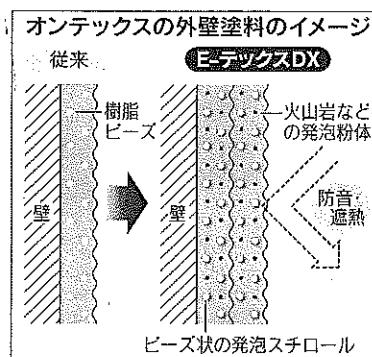
料を塗るだけならコスト最大3.5倍までの厚みを実現する。これにより従来よ

りも約9.5mm、防音効果が増し、不快な騒音はほぼカットできるようになつた。

一方、大和ハウス工業や積水ハウスなどの住宅メー

リーダー企業は、これまで樹脂製ビーズを練り込んで塗料を採用していた。だが、0.9mm以上の厚みを出そうとすると壁から塗料がたれ落ちて塗りムラが発生し、思うような遮熱・防音性能を出せないのが課題だった。

「より厚く塗るために



## 厚さ3ミリ、遮熱・防音性高く

ケースが多い。断熱材を取り換えるためには一度内壁を使う材料を廃棄。素材に火山岩などの軽量岩石を利用し、樹脂ビーズの代わりに発泡スチロールを採用して、施工方法についてもこれまでの外壁塗装とは異なる工法を開発した。通常、下地材は一度塗りが主流だが、E-テックスDXは1・5mmずつを2度塗装する。最大3.5mmの厚みを実現できるよう、専用の「ウエットゲージ」と呼ばれる測定器も配布。施工品質を守るため、専門の協力工務

いう徹底ぶりだ。

に、各社とも「省エネ」

ランの拡充と品質向上へ

の取り組みで大手に負けない体制作りを怠ぐ。

オンテックス

### 発泡スチロール入り外壁塗料

オンテックスは専門の協力工務店に施工注し品質向上を図る

にだけ施工発注し品質向上を図る

(根本舞)